

安城市内景況調査結果 (2021年7月～9月)

<全体的に業況の悪化が見られる>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 106企業
2. 調査対象時期 2021年7～9月期
(1)前年同期(2020年7～9月)と比べた今期の状況
(2)今期と比べた来期(2021年10～12月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	24	22	24	25	11	106
構成比	22.6%	20.8%	22.6%	23.6%	10.4%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを見ると、△17.0ポイントとなり、前回実績(△10.0)と比較すると業況が悪化していることが分かる。また、緊急事態宣言が解除され、規制が緩和されるサービス業以外の業種において来期も業況の悪化が予測されており、今後も厳しい業況が続いていく見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△10.0	△17.0	△24.0
売上高	△13.4	△19.2	△20.6
売上単価	△28.9	△16.2	△17.5
資金繰り	△14.4	△11.4	△13.0
借入難度	3.3	△3.0	△8.2
収益状況	△20.2	△18.1	△23.8
雇用人員	△4.1	△9.6	△10.8

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	△17.0		△8.3		△27.3		△25.0		△16.0		0.0	
	売上高	△19.2		△4.2		△38.1		△20.8		△16.0		△20.0	
	売上単価	△16.2		△16.7		△27.3		△25.0		△4.2		0.0	
	資金繰り	△11.4		△12.5		△4.8		△8.3		△20.0		△9.1	
	借入難度	△3.0		△12.5		5.9		0.0		△8.7		9.1	
	収益状況	△18.1		△8.3		△22.7		△25.0		△20.8		△9.1	
	雇用人員	△9.6		4.2		△5.0		△29.2		△12.0		0.0	
来期の見通し	業況判断	△24.0		△26.1		△31.8		△43.5		△8.1		0.0	
	売上高	△20.6		△21.7		△35.0		△34.8		△4.0		0.0	
	売上単価	△17.5		△21.7		△13.6		△21.7		△12.5		△18.2	
	資金繰り	△13.0		△17.4		△15.0		△4.5		△20.8		0.0	
	借入難度	△8.2		△13.0		0.0		△8.7		△21.7		18.2	
	収益状況	△23.8		△22.7		△36.4		△39.1		△4.3		△9.1	
	雇用人員	△10.8		8.7		△5.0		△39.1		△20.0		18.2	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。